

## フォーラム アンケートご意見抜粋

なぜ今頃博物館なのか？本来ならば昭和50年代～60年代に建設して欲しかった。2050年には富士宮市の人口は8万人台まで減少すると推測されているときに、維持できるのか？税収もかなり減ってくる。

①博物館を防災拠点としての利用活用できるようにして欲しい。

②資料リストを富士宮市ホームページで公開して欲しい。

我々は年齢も高齢なので博物館ができる事は見れないかもしれないが、今の子供が歴史に関心を持つか分からないが、ないよりある方がいいかもしれない。

博物館の建設に対しては、規模や予算、場所などの議論が先行しすぎており、博物館そのものの重要性がしっかりと議論されていないように感じる。

基本計画の策定に向けては、そこの議論もしっかりしていただき、適正な規模の拠点施設が出来れば良いと思っている。

現在、そして将来の若い世代の人々のために、是非富士宮市として素晴らしい博物館を作っていただければと思う。

ただ、「郷土史博物館」という名称にすると、地元の古いものだけしか扱わないというイメージを抱いてしまう。現代社会へとつながる歴史や文化をターゲットにしていることも意識しながら、もっと魅力的な名称を考えてほしい。

また、施設の規模も必ず手狭になってくる。予算の問題もあるが、しっかりとした運用のあり方を踏まえて、余裕のある施設作りを求める。

博物館建設に対する意見が様々ある。これら異なる意見を出し合う場として参加したが、聞くだけとは。

「博物館を考える」場合、文化財等に対する価値をどうとらえるのかによって大きく異なる。価値が無いと考えれば金をかける事に反対となる。価値が有ると考えれば、管理、保管にお金をかける事に賛成となる。博物館にこだわらず、管理保管する為の施設として、博物館相当施設として、建設することも選択肢としてあると思う。

博物館に向かうステップアップとして文化財の価値、その保管、管理についてもっと強調した方が良いと思う。文化財の保管・管理は必要と思う。

当局の建てたいという前提でのフォーラム。参加者の意見を聞けると思い参加したが、物足りない。

博物館の必要性について、様々な意見を聞くことができた。特に渡井正二先生の「子供が地域のことを学べる」場としての必要性は共感した。

市民は財政的な心配をする話を聞くが、納得していただけるような説明が大事。

箱物はキライだが、博物館は必要。郷土愛の核となる、学びの場となる、人を育む場として推進をお願いしたい。

ただ人工物を作って、きれいに観光するだけでなく、渡井先生のように、郷土を誇れる人材の育成が一番大切である事を大切にして、博物館の運営をお願いしたい。（渡井先生のような）富士宮の歴史郷土愛を誇れる人材の育成！箱物を作って終わりでない！

子どもたちと一緒に地域を学ぶ手がかりとなる場、また、子どもたちが生き生きと学ぶ場としての博物館の役割の重要性について改めて実感しました。

他の市を訪れると郷土資料館や博物館等が一つの市でいくつもあったりする。  
それを見るたびに富士宮にはなぜ博物館が無いのだろうとよく思っていた。  
富士山のふもとの富士宮市に郷土資料館、博物館は必要だと思う。  
そしてパネルの掲示だけではなく、渡井正二先生のように、郷土史、郷土愛を熱く語れる人材が必要  
だと思う。熱い学芸員さんも是非！

どのように富士宮の歴史や文化を次世代の子供たちに伝えていくか、その一つの有力な方法として  
博物館があることを理解した。ただ、ハコだけではなく、ソフトの人材も必要だと感じた。

郷土資料館、誰のために建設するのか。”古きを知って新しきに”  
富士宮市の文化を知ることは大切である。富士宮市民の誇りになる事項を知ることは必要。  
次の代に伝えるべき子供が年々少なくなる富士宮はいかがなものか。  
長泉町は子供が増えている、なぜか？  
富士宮市で子供を産みたい・子育てしたい、そのような市になってほしい。

渡井正二先生の子供時代からの郷土への興味を足で学んだ話と、歴史の文化財、資料、土地等の保  
管が重要で、それらを展示、公開し、子供達に見せ、教える事が必要であると解った。

なぜ富士宮市に博物館が必要なのか!なぜ今「博物館」なのか？社会(教育)とは、何か？  
社会とは人が集って生活を営むその集団：歴史、地理とはそれを取りまく周辺状況であり環境であ  
り、人の生活に切っても切れないモノ。  
人が生きていくには将来予測が必要で、それには周辺状況、特に過去の出来事は大切である。  
人々が平和で文化的な生活を続けていくにはその周辺における出来事を知っておくことは必要であ  
るということか。  
『地域の活力の向上』には経済活動との連携が必要と考えるが『小さな博物館』で良いのか？

私は、郷土博物館は必要だと考える。  
富士宮の歴史・文化・資料・文化財を適切に展示・保管し、後生に伝える博物館を何とか作ってほ  
しい。  
また、観光の情報発信を行っており、点在する歴史をどう伝えれば良いか、日々悩んでいる。

博物館の必要性を強く感じた。是非とも博物館を作っていただきたい。富士宮の歴史を知ることは  
未来への投資だと思います。

将来の担い手となる人たち（今の子供達）へ残せるものを作ること、博物館の必要性を理解するこ  
とができた。博物館を建てることで、富士宮市をもっと知ることや、色んなことがあるすばらしい  
まちと感じてもらえるといい。

人の記憶を次代に伝えるための収蔵、調査研究の拠点として、また必要であると認識をあらたに  
持った。  
現在の収蔵物及び市内に眠っている文化財を考えると、博物館は安易に縮小するのではなく、で  
きるだけ大きく作っておいたほうがよいのでは。

博物館の建設は是非作ってほしいが、市長案のきらら駐車場は反対。  
平日でも市の中心部は道路混雑がひどく、日常的な買い物や通院など市民生活に支障がでている。  
また、せっかく作るのなら狭い所にこじんまりとした中途半端な物を作るのではなく、十分な広さ  
の展示室収蔵室があり充実した楽しい施設を作ってほしい。